発行：　大村市少年センター　大村市玖島1丁目17番地10(陸上競技場横)　TEL54－6405

少年センターだより

令和5年５･６月号（第424号）

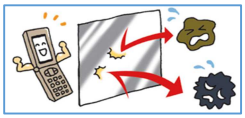
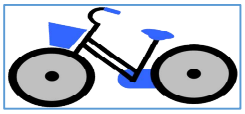
ココロねっこ

毎月1日「少年の日」 ☆育て少年心豊かにたくましく！第3日曜日「家庭の日」 ☆咲かせよう明るい会話，家族の輪

大村市少年センターの紹介

今年度も大村市少年センターは下記に示した【運営方針】を基に市民の方々の要望にお応えしながら、さまざまな業務に取り組んでいきます。

【運営方針】　大村市教育方針にのっとり、深い愛情と強い信念を持ち、関係機関･団体と連携を図り、非行の未然防止と健全育成・環境浄化に努める。

少年の補導及び相談に関すること	青少年問題の調査研究及び資料収集に関すること	関係機関・団体との連携及び協力に関すること	少年の非行防止及び保護育成に関すること	少年の健全育成活動に関すること
○補導業務 ○相談業務	○メディア安全 ○自転車実態調査	○学校や各団体、県･各市少年センターとの協力	○警察署等と連携 ○環境浄化活動	○14地区の健全育成連絡協議会との連携及びココロねっこ運動の啓発･推進
 	 		 	

令和４年度白ポスト回収結果

本	DVD等	その他	合計
124 冊	101 枚	31	256

大村市には、右の写真のような白いポストが大村駅、竹松駅、バスターミナル、サンスパ大村の４か所に設置しされています。このポストは、子供たちの目に触れさせたくない有害図書類を回収するものです。市内の子供達が安心して生活できる環境づくりのために設置しております。ご協力よろしくお願いします。

令和４年度　定期街頭補導の結果

飲酒	喫煙	薬物乱用	乱暴けんか	たかり	婦女いたずら	暴走行為	家出
0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
無断外泊	深夜徘徊	怠学	不健全性行為	不良行為	不健全娯楽	その他	合計
0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	909 件	909 件

その他内訳	自転車違反	外出時間注意	ゲームセンター等	買い食い	男女交際	愛の声かけ
	121 件	0 件	193 件	0 件	14 件	581 件

自転車のマナーについて

相手当事者別自転車関連事故件数
（平成２９年度から令和３年度の総計）

対自動車	647 件 92.8%
対歩行者	23 件 3.3%
対二輪車	18 件 2.6%
自転車単独	5 件 0.7%
自転車相互	4 件 0.6%

全体で 697 件

「自転車対自動車」事故類型別事故件数
（平成２９年度から令和３年度の総計）

出会い頭衝突	３８０件 58.7%
左右折時衝突	188 件 29.1%
追越追抜衝突	19 件 2.9%
追突	8件 1.2%
その他	52 件 8.0%

全体で 647 件

長崎県警によると、自転車における自動車との事故の中で、出会い頭の事故が大部分を占めていることがわかりました。自転車は、軽車両です。一旦停止や一方通行などの自転車も交通標識を守り運転する必要があります。車が止まってくれるだろうといった考えは持たずに交通ルールを守り運転してください。

長崎県メディア安全指導員をご活用ください

警察庁の発表によりますと、「Twitter」や「インスタグラム」、「ＬＩＮＥ」などのＳＮＳによる 18 歳未満の青少年の全国での被害者数は 2021 年の１年間で、1,812 人でした。前年よりも減少したものの、2013 年以降増加傾向にあります。しかも、被害者のうち中高生が多数を占めています。長崎県においても、平成 29 年からの５年間で、68 人もの児童生徒が被害にあっており、そのうち多くの児童生徒がフィルタリングを利用していませんでした。また、厚生労働省の調査によると、中高生の７人に１人は依存傾向にあるといわれています。依存傾向が高くなると、生活習慣の乱れから、成績不振、居眠り、遅刻、友達とのトラブルといった問題が報告されています。

大村市少年センターは、「長崎県メディア安全指導員」の大村・東彼地区派遣事務局として申し込みを受け付けています。小学生から高校生までの児童生徒への指導や、幼稚園や保育園等で乳幼児の保護者向けの講話、ＰＴＡ活動での保護者への啓発活動、地域や各種団体からの講演依頼など、ご希望に合わせた内容で指導員を派遣していますので、ぜひご活用ください。まずは、少年センター（54-6405）までお電話を。

＜ 連載コラム ＞

３月末をもって竹松小学校を定年退職し、この４月から少年センターに勤務することになりました「角野良介（かどのりょうすけ）」と申します。当コラムを担当いたします。雑文ですが、お付き合いのほど、よろしくお願いします。

さて、私と健全育成活動との関わりは教師駆け出しの時に補導員になったことから始まります。当時、巡回で公園に行くとビニール袋を何枚も回収しました。ベテランの補導員さんに聞くとシンナー使用をした後だと聞き、たばこの吸い殻拾いも毎度お決まりでした。現在では、補導中にたむろする子ども達に出会うことが珍しくなり、たばこの吸い殻も激減しました。学校での問題行動はネット・スマホに変わり、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わりました。

補導活動を振り返るとき、確かに子どもたちの遊びや生活様式が変わったことは大きな要因ですが、これまで多くの方が、長年にわたり、地道に補導活動にご尽力いただいた成果でもあると思います。これまでのご苦労に対し感謝申し上げます。

また、地域のおじちゃんおばちゃんとして、子どもたちのお世話をして下さる方がたくさんいらっしゃいます。長崎県青少年県民会議の宮本さん曰く、「大村の青少年健全育成は県下で有数です。」こちらもまた頭が下がる思いでいっぱいです。

大村市の子どもは大村市の大人が見守る。私自身、この一員として活動できることに大きな喜びを感じています。皆様よろしくお願いします。

青少年に関する相談は少年センター（月～金　8:30～17:15）へ
☆相談電話(ヤングテレフォン)０９５７－４９－５２６３
☆ Ｅメール相談　：kiitekudasai@city.omura.nagasaki.jp